

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名) JOHN DEERE PLUS 50™ II 10W-30
供給者 Deere & Company
One John Deere Place
米国
緊急連絡電話番号 +1-309-748-5636 または 1-800-822-8262 (24 hours)
メールアドレス ESOC@JohnDeere.com
製造元 Northland Products Company
1000 Rainbow Drive, Waterloo, IA 50701
米国
電話番号 +1-319-234-5585 or +1-800-772-1724
緊急連絡電話番号 ケムトレック (Chemtrec) 1-800-424-9300 (US) - 24 時間
Chemtrec +1-703-527-3887 (International) - 24 時間
製品コード TY26668, TY26669, TY26670, TY26671, TY26863, TY27008
推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 API CK4/SNエンジンオイル。
使用上の制限 知見なし。
整理番号 11B5

2. 危険有害性の要約

GHS 分類
物理化学的危険性 GHS分類基準に該当しない。
健康に対する有害性 GHS分類基準に該当しない。
環境に対する有害性 水生環境有害性(急性) 区分3
GHSラベル要素
絵表示 なし。
注意喚起語 なし。
危険有害性情報 水生生物に有害。
注意書き
安全対策 環境への放出を避けること。
応急措置 なし。
保管 なし。
廃棄 内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。
GHS分類に該当しない他の危険有害性 繰り返しの暴露が皮膚の乾燥またはひび割れを起こす恐れがある。
重要な徴候及び想定される非常事態の概要
重要な徴候 直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
非常事態の概要 水路に排出されると環境に対して危険である。
国/地域情報 適用法令は第15項参照。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
高度精製鉱物油	各種			10 - 15
アルキル亜鉛ジチオホスファート	68649-42-3			< 1
アルコキシ化長鎖アルキルアルコール	68551-12-2	(7)-97	(7)-97	< 0.3
長鎖アルカリルスルホン酸カルシウム塩	722503-68-6			< 0.2
化学式	UVCB (Unknown, Variable, Complex, Biological) (変動組成の化学物質、複雑な反応生成物及び生物産生物質) (various)			
組成情報	成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセントである。ガス濃度は容量パーセントである。			

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が困難な時は酸素が必要になることがある。気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を取り除き、石鹸と水で皮膚を洗うこと。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。製品が皮下または体のそれ以外の部位に注入された場合、外傷の概観や大きさに関係なく、被害者は外科の急患として医師の診断を受ける必要がある。高圧注入による最初の症状が小さいか皆無であったとしても、事故が起きて数時間以内の外科治療が、最終的な損傷の広がりを極めて小さくすることができる。

眼に入った場合

水で洗う。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。大量に飲み込んだ場合は、直ちに毒物管理センターに連絡する。医師の指示なしに無理に吐かせないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

暴露すると、一時的な刺激、発赤、または不快感を引き起こすおそれがある。長時間または繰り返し接触すると、充血、かゆみ、刺激、湿疹/ひびわれ、脂性にきびを起こすことがある。

応急措置をする者の保護

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項

一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。高圧皮下注入：この種の創傷の手当てのための局部処置方法、すなわち切開、洗浄、壊死組織の除去及び傷口の包帯の仕方は医師がよく理解しているはずです。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO₂)。

使ってはならない消火剤

消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

火災時の特有の危険有害性

火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法

危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護

火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性

火災にまきこまれた場合は燃焼する。

特定の消火方法

通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。蒸気およびスプレーミストの吸入を避ける。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。人体の保護具については第8項を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

この製品は水と混合せず、水の表面を拡散する。製品を排水施設に流してはならない。

大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出：吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物処理については本SDS第13項を参照。

環境への放出を避けること。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

安全取扱い注意事項

蒸気およびスプレーミストの吸入を避ける。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。長時間の接触を避ける。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。本SDS第8項で推奨されている個人用保護具を使用すること。

接触回避

より詳しい情報については第10項を参照。

適切な衛生対策

本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。直射日光を避ける。混触危険物質（本SDS第10項を参照）から離して保管すること。

安全な容器包装材料

元の容器に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限界値

日本産業衛生学会－許容濃度

成分	タイプ	数値	形状
オイルミスト（鉱物質） （CAS 該当しない）	TWA	3 mg/m ³	ミスト。

成分	タイプ	数値	形状
オイルミスト（鉱物質） （CAS 該当しない）	TWA	5 mg/m ³	吸引性画分
設備対策	適切な全体換気（換気回数1時間に10回程度）を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中的濃度を適切な濃度以下に抑える。		
保護具			
呼吸器の保護具	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。粉塵フィルター付き呼吸器。		
手の保護具	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。液体は手袋を通して浸透することがあるので注意する。頻繁に交換することが望ましい。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらったことでもできる。		
目の保護具	サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。		
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。		
9. 物理的及び化学的性質			
外観			
物理的状态	液体。		
形状	液体。		
色	透明～明琥珀色。		
臭い	石油。		
pH	データなし。		
融点・凝固点	データなし。		
沸点、初留点及び沸騰範囲	> 320 ° C (> 608 ° F)		
引火点	223.0 ° C (433.4 ° F) クリーブランド オープンカップ法		
燃焼性（固体、ガス）	該当しない。		
燃焼又は爆発範囲			
燃焼又は爆発範囲一下限(%)	0.9 %		
燃焼又は爆発範囲一上限(%)	7 %		
蒸気圧	< 0.01 mm Hg @ 37.8 ° C (100 ° F)		
蒸気密度	> 1 @ 20 ° C (68 ° F) （空気 = 1）		
比重	データなし。		
溶解度			
水溶性	不溶性		
溶解度（溶剤）	完溶。		
n-オクタノール／水分配係数	データなし。		
自然発火温度（発火点）	データなし。		
分解温度	データなし。		
粘度（粘性率）	データなし。		
その他の情報			
爆発性状	爆発物でない。		
動粘度	85 センチストーク @ 40 ° C (104 ° F)		
酸化能力	酸化性でない。		
10. 安定性及び反応性			
反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。		
化学安定度	通常状態で安定。		
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。		
避けるべき条件	混触危険物質との接触。		
混触危険物質	強酸化剤。強酸。強塩基類。		
危険有害な分解生成物	本生成物は分解後、一酸化炭素、二酸化炭素及び / または低分子量の炭化水素を放出します。硫黄酸化物。アルデヒド。酸化亜鉛。		
11. 有害性情報			
急性毒性	大量に飲み込んだ場合有害である。		
皮膚腐食性/刺激性	長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。		
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。		
呼吸器または皮膚の感作			
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。		
皮膚感作性	この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。		
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に関して、変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。		

発がん性	ヒトへの発がん性を分類できない。
ACGIH発がん性物質	
鉱物油、高度精製（CAS 該当しない）	A4 ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
IARC発がん性評価モノグラフ	
鉱物油、高度精製（CAS 該当しない）	3 ヒトへの発がん性を分類できない。
生殖毒性	この製品は、生殖影響または発生影響を引き起こすとは予想されない。
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分外。
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分外。
吸引性呼吸器有害性	吸引性呼吸器有害性でない。
その他の情報	製品の加熱中に生成したオイルミスト又は蒸気を吸入すると、呼吸器系が刺激されたり、咳が出たりする。

12. 環境影響情報

生態毒性	水生生物に有害。
残留性/分解性	データなし。
生体蓄積性	体内に蓄積される可能性がある。 Log Kow: >4（推定値）
土壤中の移動性	この製品は水と混合せず、水の表面を拡散する。
オゾン層への有害性	データなし。
他の有害影響	油の漏出は一般的に環境に対して有害である。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。 空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。 薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないでください。 内容物／容器は、地域／地方／国／国際法律に従って処理する。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA	危険物には該当しない。
IMDG	危険物には該当しない。
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送	該当しない。
国内規制	国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法	
通知対象物	該当せず。
表示対象物	該当せず。
毒物及び劇物取締法	
特定毒物	該当せず。
毒物	該当せず。
劇物	該当せず。
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	
第一種特定化学物質	該当せず。
第二種特定化学物質	該当せず。
監視化学物質	該当せず。
優先評価化学物質	該当せず。
化学物質排出把握管理促進法	
特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。
第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（アルキル基のC=12～15までのもの及びその混合物に限る） 政令番号 407 0.22 % （アルコキシル化長鎖アルキルアルコール）

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

消防法

第四類第四石油類 危険等級III

船舶安全法・危規則

該当せず。

航空法・施行規則

該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

Northland Products Company は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シート情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。